

ヤマザクラ

2012 年(平成 24 年)7 月 20 日(金)発行

第8回通常総会開催

第 8 回通常総会は、平成 24 年 6 月 17 日（日）午後 2 時から湯ノ岳山荘に於いて開催されました。その要点を記載します。



司会者 金子理事

まず、松崎理事長より挨拶の後、ご来賓として出席下さいました、福島県いわき農林事務所森林林業部林業課 主任主査 樋田和美様 の紹介がありました。



議案を提案する松崎理事長

司会者より、総会出席者 40 名、委任状 33 名と合計 73 名、と過半数に達し総会成立の報告がされました。会員数 131：(正会員 116・家族会員 12・団体会員 3)



議長に選出された鈴木正明さん

議長は鈴木正明さんが選出され議事に入り、理事長より平成 23 年度事業報告、会計報告が詳細に報告。猪村監事より監査報告され慎重審議の上、平成 23 年度事業は原案通り承認されました。



監査報告者 猪村監事

平成 23 年度の特記事項は、理事長挨拶にもありましたが東日本大震災への対応として、会として直接的なボランティア活動は行わず、湯ノ岳山荘を利用されたボランティアの方々に対して、後方支援を行うことを主に活動したこと、震災後の原子力発電所事故による放射線量の問題から、屋外での自然体験活動等が大幅に減少したことでした。

湯ノ岳山荘では、利用者全数について対前年比16%減少となりました、宿泊者数は対前年比55.4%（1,315名）と大幅な増加でした。これらは、いわき市内の宿泊施設は震災復旧の方々が優先的に利用、災害ボランティアの方々は泊まらず山荘を利用されたことによります。

その他、主な活動項目として、いわき明星大学学生の自然体験フィールドとしての学校林の整備。

プロ野球の森の整備についての事務局を担当することになった。

また、東日本大震災の大津波で破壊された海岸林の再生への取組み等がありました。

引き続き、平成24年度事業計画の審議に入りました。

事業実施方針は「放射能の被曝から完全に逃れることは難しい時代に入ったことを前提に、今まで以上に元気になれるようなことを目指し、会の目的である「森に親しみながら持続可能な地域づくりに寄与する」ことを基本として活動することが提案され慎重審議の上、事業計画（案）、予算（案）とも原案通り承認されました。

事業内容については、昨年度とほぼ同様の活動を行うこととなりますが、次のことが新たに加わりました。

市民の森づくり事業活動で「プロ野球の森事業への協力」と森に関する各種情報の受発信事業活動で「会報ヤマザクラ」の年4回発行の2つです。



第8回通常総会会場スナップ

プロ野球の森について

日本野球機構は、2008年から温暖化防止活動を開始し、自治体等と連携して、2009年には宮崎県に、2010年には新潟県及び北海道に「プロ野球の森」設定してきました。

2010年は世界中で人々と森との関わりを見つめ直し森づくりと木づかいの循環を取り戻していくことを呼び掛ける「国際森林年」でしたが、日本では東日本大震災が発生し、東北地方を中心に未曾有の被害を受けました。

このようななかで、日本野球機構及び国土緑化推進機構からいわき市に対して、21世紀の森公園の自然

冒険ゾーンの一部をプロ野球の森として設定できないかとの話があり、協議を重ねた結果、2011年12月4日にプロ野球の森設定記念植樹式（樹種はアオダモ3本）を実施し、12月16日には次のようなプロ野球の森協定を締結しました。

「私たち、いわき市と日本野球機構、国土緑化推進機構は、地球温暖化防止に向けた市民参加の森林づくり及び市民同士や他地域との交流との拠点として、プロ野球の森づくりを協働してとりくみます」



記念植樹者

中日ドラゴンズ井端選手、地元野球少年植田中2年今野史明君、平1中2年猪狩寿秋君、渡辺いわき市長、林野庁小島孝文主席森林計画官、社団法人国土緑化推進機構梶谷辰哉専務理事

プロ野球の森設定記念イベント

- ・平成24年5月27日(日)9:30~12:00、
- ・21世紀森公園内において

(1)プロ野球の森について多くの市民に周知すること。
(2)プロ野球の森を市民による市民のための森にするための活動に着手したことを市民に知ってもらうことを主なネライとして記念イベントを行いました。
その内容は次のとおりです

- (1)プロ野球の森の看板設置式。
- (2)プロ野球の森の内容についての資料配布。
- (3)プロ野球の森のフィールド視察。
- (4)プロ野球の森のモウソウ竹の除伐作業のプレゼン。
- (5)主として子供を対象とした各種自然体験活動。

イベント終了後、関係者間で今後のプロ野球の森の整備について打ち合わせを行い、今年10月以降本格的な整備作業に着手することになりました。

プロ野球の森づくりについては市内森づくり団体が中心となり、行政とも連携しながら推進していくこととなりますが本会が事務局を担当します。

ろうきん森の学校

(自然体験活動について)

ろうきん森の学校の情報は、「ホームページ」・「ろうきん、森の学校だより」より発信されております。会報でもその一部をお知らせしたいと思います。

ろうきん森の学校は毎月開催しております。基本の内容は、里山の「自然観察会」を通して、森や樹木・草花を楽しみ自然を身近に感じていただく事です。

毎月自然観察会に参加していただくと、里山の季節の移り変わりを体験し、里山の魅力を十分楽しんで頂けると思っております。

また、昔は里山と共に暮らし、里山の恵みに感謝した生活でした。ろうきん森の学校ではその「山の恵みの食材」にこだわって、季節毎の「野外料理体験」として学んでおります。

これまでの野外料理体験では、湯ノ岳山荘付近の恵みは25種を採取しました。主な料理は「てんぷら」と「混ぜご飯」・「山菜・キノコ汁」でした。それぞれに味・香・舌触りに特徴があり美味しくいただきました

食材の採取は、とにかく多品種でした。今後も安心して食を楽しむためにも、食べられない「毒草」・「毒キノコ」を見極めることが大切と思いました。

今後の体験活動は、8月26日(日)クラフト、9月16日(日)農業体験、10月21日(日)キノコの勉強会が予定されております。是非多くの方々の参加をお待しております。

参加は自由です(予約不要)当日午前9時湯ノ岳山荘集合。会費は¥300円(一般¥500円)

11月以降は、森林療法体験、蕎麦打ち体験、花炭作り、森の手入れ、キノコ植菌を予定しております。

季節の料理体験 (ろうきん森の学校)

野口ミツ子

6月17日に開催された、ろうきん森の学校自然体験活動では27名が参加し自然観察会と野外料理体験を行いました。当初予定していた森の手入れ作業は雨天のため中止しました。野外料理体験では笠石の畑の収穫物と山菜とキノコを利用したメニューの他に、今月はホオノキの葉を利用した、ホオバモチを作りましたのでその内容を紹介します。

ホオノキの花と葉は日本の樹木のなかで最も大きく香も良く、葉に味噌をのせて焼く朴葉味噌は岐阜高山の名物と知られています。

私達は、是非ホオノキの葉を利用して何かを作ろうと考え、東北地方では5月にカシワの葉で柏餅を作るのでホオバモチを作ることにしました。

会員の方達が山荘周辺で採ってきたホオの葉を塩水で良く洗い布巾で水気を取り除いておきます。

米粉に水を加えながら手で練り上げる姿は、皆さんベテランの主婦なので見事なものでした。

耳たぶ位の柔らかさになった米粉を掌にのせ丸く形を整え小豆餡や胡麻味噌餡をのせ包み込みます。葉の大きさもいろいろで、餅も大小さまざまでした。

それらを、ホオの葉で包み蒸器に並べ約20分蒸して出来上がります。

若い人や男性も一緒に作る料理はとても楽しく、この時間だけは子供にかえたような気持ちになれるのが不思議です。



楽しい試食会

餅は、小豆餡か胡麻味噌餡か見えないので口にホウバツタ時、期待に反して違う味の餅を食べた時の笑顔がとても楽しそうでした。

いわき市は比較的温暖なところなので、様々な自然の恵みと出会えます。



野外料理体験 (主なメニュー)

ホウバ餅、グリーンピースのまぜごはん、
キノコ汁、・天ぷら (ワラビ・ヤマウド・ハチク)
・いためもの (ヤマウド・シドキ)

ホウバ餅の作り方と材料 (約50個分)

材料

米 粉 3kg
小豆餡子 1.0kg(市販品を使用)
胡麻味噌餡子
すり胡麻 2袋 (小袋)
砂糖 150g (自分の好み)
味噌 100g (自分の好み)
醤油 少々

作り方

1. ホオの葉は塩水で洗い処理しておく。
2. 米粉は耳朶の柔らかさに水で練る。
3. 卵大の大きさに練った米粉を掌で平たくし小豆餡・胡麻味噌餡をのせ包み込む。
4. 温めておいた蒸器に隙間なく並べて約20分位蒸す。
5. 美味しく出来上がります。

森林整備班の活動 桑原敏和

I. 森林整備関係

① 湯の岳エリア

- 1) 広葉樹を搬出して炭焼、ストーブ用薪割実施。



5月23日(水)薪割作業

- 2) 山荘広場、駐車場、周囲傾斜地の草刈り
(5月に4回、6月に4回実施)
- 3) 湯の岳自然観察コースの枯木伐倒、階段修理
- 3) EM活性液、湯の岳エリア散布 (除染作業)

② その他関係事項

- 1) フクシマ環境未来基地への森林整備協力 (森林療法場所の階段設置完了)
- 2) トチギ環境未来基地支援 (富士フィルム労組ボランティア) で潮害防備保安林 (四倉町下仁井田須賀向国有林) の再生 (下刈り・植樹) 並びに湯の岳観察コース内の落ち葉かき、そして落葉搬出 (除染作業)。



四倉町下仁井田須賀向国有林再生作業
松くい虫抵抗性「松」の植樹作業(6月23日)



(6月23日)、湯の岳観察コース内の落ち葉かき

II. 木育関係

- 1) 木育教育指導者養成講座 (埼玉大学浅田教室)
6月2日(土)~3日(日) 湯の岳山荘、森の工房
で先生他5名来場され、当会員8名が受講しました。今年作成したものは2点で、「組立パズル版」と「ミニチュアツリーハウス」です。
・組立パズル: 枠の角を隙間無く合わせるのが難しい。
・ツリーハウス: 作者の個性とアイデアが出て楽しい。



受講作品集(ミニチュアツリーハウス)

- 2) 5月19日ろうきん3地区復興支援イベントで木工クラフト作成、大人用として箸作りとファイルスタンド、子供用としてリールシロフォンと木の枝クラフトを実施した。(創刊号参照)
- 3) その他、トチギ環境未来基地支援の広野町仮設住宅(子供13名)、いわき市緑化推進委員会主催のファミリー緑の教室支援(子供約20名)で木の枝クラフト等を実施しました。

ふくしま・グリーンフォレスターの会 いわき支部研修会と森林整備

支部長 佐藤行年

いわき支部会員は、本会の森林整備班の主力メンバーでもあります。私達は森林づくり活動を安全に進めるため、森林づくりの技術の向上にむけた研修会及び森林整備を実施しております。

1.研修会 (1) 上期

	月・日 (火)	研修内容	場所
1	6・12	ソーチェン目立	湯ノ岳山荘
2	6・19	伐倒作業	21Cの森
3	7・3	伐倒作業	〃
4	7・17	伐倒作業	〃
6	9・4	ランク3座学	湯ノ岳山荘
7	9・18	チェーンソー整備	〃

(2) 下期

	月・日 (火)	研修内容	場所
1	10・23	刈払機の整備	湯ノ岳山荘
2	11・20	手道具の手入	〃
3	1・22	チェーンソー整備	〃
4	2・19	安全衛生研修	〃



研修会スナップ(指差呼称:伐倒方向ヨシ!)

2.森林整備 (プロ野球の森)

21世紀の森公園の自然冒険ゾーンに「プロ野球の森」として約5haが設定されました。

この森の整備を会員が主となり実施しております。

・6～7月の作業日は

6月(14.15.16,21.22.23,28.29.30)

7月(5.6.7,12.13.14)

整備の目標は、昔日頃遊んだ里山を作ることです。今回は、放射線量の高い針葉樹(杉)を伐採し除染作業も合わせて実施しております。

また、伐倒はロープを使用し安全な方向へ倒し、作業の安全を確保する実践です。



森林整備作業(杉の伐倒作業)

- 今年度は「森づくり安全技術ランク3」を兼ねた研修会・森林整備としております。
- 支部会員以外の方々も自由に参加は可能です、多数の方々の参加をお願いします。
- 会の行事を優先とします。雨天時は作業を控えます。(疑問があれば山荘に問い合わせ下さい)。

農作業班の活動

太田 満

1. イノシシ避けフェンス内の畑で栽培開始

設置した畑(フェンス内の)を耕し、畝作り作業などを行い、さつまいも、カボチャ及び落花生の苗を植え付けました。

現在のところ、笠石の畑へのイノシシの侵入はありません。

2. 収穫作業

玉ねぎ、ソラマメ、ラッキョウなどの野菜を収穫しました。

ジャガ芋はこれから収穫予定です。

3. 植付け作業など

ビニールハウス内に、トマトとスイカの苗を定植。

トウモロコシ苗、長ネギ苗などを畑に植え付けました。大豆の種を蒔きました。

4. その他

畑へ続く農道の陥没箇所の補修を行いました。地主さんへ収穫野菜を持参しました。(ソラマメ、ラッキョウなど)

ブルーベリーが沢山実りました。実が熟すのは7月下旬からでしょう。

新しい貯水槽(1m³)が設置されました。

5. 今後の予定

夏から秋にかけて、カボチャ、トマト、さつまいもなどの収穫作業。

畑内の草取り、周囲の草刈り作業などを行います。

継続して農道の補修作業を行います。

8月のお盆前後はお休みします。



5月14日、さつまいも苗植え付け準備と植え付け畝

春の観察会

若森秀樹

・平成24年4月21日(土) 9:00~12:00(曇)

参加者を公募しての本年度初の自然観察会は、野外活動自粛ムードか一般からの応募がなく、トチギ環境未来基地の皆さんと、北海道からのボランティアの方を含め参加者は大人12名でした。観察コースを2回廻り自然観察ビンゴと目玉遊び等で楽しみました。



自然観察会風景

今回は、研修会のような観察会でした。また、大人だけの参加、今年度は子供達の屋外活動が心配です。

自然体験学習支援活動

若森秀樹

1. 江名小学校2年生

・実施 平成24年5月22日(火) 天候 雨

・テーマ「学校の春を見つけよう」

「学校の春の探検地図を作ろう」

校庭を探検し、採取した草木のスケッチを、地図に貼り付けた作品を作る。残念ながら、当日は雨で予め採取した草木をスケッチした。



真剣な勉強(スケッチ)風景

後日、スケッチした草木を現地で確認し、地図に貼り付け完成させる。次回の訪問が楽しみです。

2. 中央台北小学校4年生1組(第1回)

・平成24年6月14日(木)

・テーマ「命のつながり」

*まず、森の役割、命のつながりのお話した。

*落葉樹(ケヤキ、サクラ)、常緑樹(クスノキ、マテバシイ)から、各1本自分の好きな木を選び名前をつける。

*遠くから観てスケッチし、近くに寄り観察し、なにを感じるか班ごとに話し合う。(普段気づかない自然を五感を使って観てもらおう)



入念な観察

第 27 回いわき市ファミリー緑の教室

猪村珠紀

6月30日(土)梅雨の晴れ間、湯ノ岳山荘にて、いわき市緑化推進委員会主催による第27回いわき市ファミリー緑の教室が開催されました。

“家族で緑に親しもう! 森の中で遊び、学ぶ”、というテーマで行われました。

今回は、林内に入っただけの観察会ではなく、広場での活動となりました。

当会では、下記のゲーム及び石窯を担当し、緑の教室を支援しました。

参加者は、長倉小学校の家族を中心に親子28人が広場で目玉ッチゲーム、目隠し歩き、マツボックリゲーム、綱引きなど親子で楽しみました。

目玉ッチゲームは、ギボウシの花を髪に見立てて茎に目をつけたり、太陽が眩しい表情を目玉で表現したり、木の凹凸を利用し鼻や口に見立てたりアイデアも豊かで木も喜んでいるかのようにみえました。



目玉ッチゲーム(あらゆるものに目を付て楽しんだ)



目隠し歩き(手の感覚で木の幹の手触りや温度を感取る)

目隠し歩きでは優しく誘導する人、手荒く何回もぐるぐる回すお父さん、目の見えない不自由さを感じたり、手の感覚で木の幹の手触りや温度を感じたり視覚以外の感覚からいろいろ感じ取ったようです。

親子綱引きは久しぶりに親の方が勝ち、子供達は悔しがっていました。森の工房では木工クラフトで、始めて使う大鋸で丸太切をしたり、ドングリやマツボックリを使って人形を作ったり、いろいろ工夫を凝らした作品が出来上がりました。



(上)親子綱引き

(下)クラフト作品(ドングリ人形)



最後に石窯でサツマイモ、ニンジン、タマネギ、ピザを焼いて食べ、楽しいひと時を過ごしました。子供達は普段このような遊びをしないので久しぶりに自然の中で体を動かし満足気でした。

記念品としてハイビスカス等の花鉢を頂き解散となりました。

自然とふれあい、森や緑に対する関心が少しでも高まり、家族で共有出来ればと、願っております。

総合学習支援活動 上遠野小学校 4 年生

若森秀樹

1 「自然と暮らし」上遠野川（鮫川）の河口を訪ねて 平成 24 年 4 月 27 日（金）天候 小雨

鮫川河口で津波後の砂浜を観察。又、上流から河口までの「砂の標本」を作製と 5ヶ所の水質検査を実施した。河川の災害（洪水等）防止と水の利用のため作られた、四時ダムを見学した。



鮫川河口で・勿来共同火力発電所をバックに

2 「里山の自然と暮らし」森との付き合い方の勉強

：合学習年間テーマ「自然と暮らし」

・施月日 平成 24 年 6 月 27 日（水）

・的地 八潮見城（上遠野城）遠足

当初 6 月 6 日（水）を予定し、5 月 31 日（日）下見を行いました。当日雨天のため 6 月 27 日（水）に延期し実施しました。

目的地は、一時話題となった八潮見城でした。参加者は 4 年生児童 31 名、学校側は担任の先生と校長の 2 名、父兄の方々には希望者が多く 18 名、上遠野支所から 1 名、計 52 名の参加者でした。当会から 9 名で支援いたしました。

八潮見城は、戦国時代に上遠野氏により築城されました。昔の面影を偲ばされる石垣や土塁などの遺構が残っており、地元の方々により遊歩道が整備されています。上遠野の町とは標高差 100m 余ですが、一周 3 km と長く、ロープの張られた急坂もあり、遊歩道と言うより登山道です。



ロープを伝って急坂を登る

昔の遺跡のほかにも自然が豊富で、直径 1m のモミノキの巨木や、ミズナラの大木もありました。

また、下見のときはシャガの群生やクサノオ、今回はヤマホタルブクロの大きな群生やドクダミが生き生きしているのが印象的でした



夢展望で周囲を観察・眺望を楽しむ

大休憩をとった主郭部の夢展望は、上遠野の町から遠く太平洋まで見晴らせ、三崎公園のマリンタワーを見つけようと盛り上がりました。

ここから見る杉林や里山は、良好に保全されているとは言いませんが、子供達には理解できたでしょうか？途中、スズメバチに遭遇するなど、安全対策を考えさせられましたが、珍しい遺跡や豊かな自然を万喫し、快い疲れを感じた楽しい半日でした。

興味のある方は、是非訪れてみてください。また、山荘に掲示してある自然体験学習ニュースも参照ください。

EM 菌で湯ノ岳山荘周辺の除染作業

菅野貞夫

東日本大震災により東京電力福島第一原子力発電所事故から1年3ヶ月が過ぎました。

未だ収束されない放射能汚染問題は、被曝を恐れて野外での自然体験活動を控える風潮があるため、小中学校中心の自然観察会や自然体験活動など、大幅に減少しました。また、山荘前のバーベキューなどに広場の利用も放射能被曝を恐れてか、昨年は大幅に利用者が減少してしまいました。

一般的に、コンクリートやアスファルトの多い街中とくらべて、湯ノ岳山荘周辺は豊かな森林に囲まれ、森林や落葉や草などが自然のまま残された里山なので、放射線量は、広場は毎時 $0.2\mu\text{Sv}$ 前後ですが森林内は毎時 $0.2\sim 0.3\mu\text{Sv}$ と若干高めになっております。

この値は、数時間野外活動する上で問題ないものと思っておりますが、少しの不安でも解消するためにはより低いほうが良いと考え、現在放射線量の低減対策を行っております。

一つは、限られたフィールドであります。H23.3.11 前にあった落葉の除去作業です。この作業はボランティアの人達の協力を得ながら実施し成果を挙げておりますが面積が広いので時間がかかります。

もう一つは、EM活性液のフィールドへの散布です。EM活性液中の光合成菌等の働きによりセシウムの植物への移行係数が低下することは実証されておりますが除染効果については現在実証試験中です。

このたび、地球環境共生ネットからEM培養器「百倍利器」の無償貸与をうけましたので湯ノ岳山荘周辺を対象にEM活性液を大量に製造散布しております。

現在は 2000l を月 2 回位のペースで散布しております。効果の確認には時間がかかると思っておりますが、マイナスにはならないことは間違いないので当分の間続けていくことにしました。



バンガロー周辺の EM 活性液散布作業

また、EM 活性液には、抗酸化作用がありますので家庭のトイレ・下水層・匂い悪臭が溜まり易いコンポスト・畑への散布などにも利用できます。使用してみたいご希望者には、お分けいたしますので湯ノ岳山荘まで申し出ください。お一人 20 まで無料でお分けいたします。

「苗木 for いわき」プロジェクトの取組み

トチギ環境未来基地・フクシマ環境未来基地のメンバーがいわき市において展開している復興支援のためボランティア活動に対して昨年からのプランター作りなどいろいろと支援してきましたが、このたび「苗木 for いわき」プロジェクトについても協力することになりました。

このプロジェクトは今回の津波で被害を受けた海岸林の一部の再生を行っていかうというもので、相当長期の取組みになります。本会の活動は行政等への橋渡しや技術指導が中心になります。

プロジェクトの進展状況をみながら、いわき市民へのPRも行っていきたいと思っております。



チラシは山荘にあります

渡り鳥「アオジ」

まだまだ寒い1月13日(金)の朝、いつもの通り湯ノ岳山荘の日直業務の使用水道水量を計測し山荘の警備ロックを開錠してから通用扉を開けた。

ふと見ると扉の横に小鳥が一羽寒そうに横たわっていた。

「雀かな？」可哀想なのでどこかに埋葬をしようと思って拾い上げると足環がついていた。これはもしかすると渡り鳥かもしれない！

幸い図鑑が沢山有るので朝の作業が一段落してから調べてみたが余り良く判らない？ホームページで野鳥の事が判る所を探したところ「山階鳥類研究所」を見つけました。

早速電話を掛けると見つけた状況等のメモを付けて着払いで送ってほしいとの事でした。小さな発砲スチロールの箱に傷を付けないよう紙で小鳥を包みさらに梱包材で保護をして宅急便で送りました。

あれから約半年、平成24年6月8日に忘れかけていた報告者が同研究所から送られて来ました。

概要内容は以下の通り。



アオジ (鶯雀) 一口メモ

黒い顔をしたホオジロ類

冬は暖かい地方へ移動。

鳴き声

地鳴き：ジッ (強い声)

さえずり：

チョッピンチュルリー

標識鳥回収記録

山階鳥類研究所 整理番号：017855

足環番号：2AE-74308

種名：アオジ

(*Emberiza spodocephala*) [AC12]

放鳥

日付：20111005 姓：F 齢：J

場所：北海道根室市川口

回収

日付：20120113 姓：F 齢：J

場所：福島県いわき市常磐藤原町湯ノ岳

備考：死骸を発見。標本として山階鳥類研究所に保存
移動距離：796Km

経過時間：0年3か月(100日)

放鳥者：仲村 昇 千葉県我孫子市並木

回収者：金子喜弘

福島県いわき市中央台鹿島

放鳥されてから3か月約800Kmを移動し、ここいわきの湯ノ岳山荘に辿り着いたのも

何かの縁かな？ 「安らかに」

金子記

キノコ班活動について

荒川周一

現在今年度のキノコ栽培の準備中です。

6月末にパイプキノコハウス完成しました。

床面積約30㎡。植菌等キノコ栽培の準備出来次第連絡致します。キノコ栽培に参加ください。

キノコの収穫が待遠しくなります。

楽しみが一つ増えますヨ。

完成したキノコハウス



車検完了で～す

平成 24 年 6 月が車検の三菱ミニキャブ君、湯ノ岳山荘に来る前は富岡にいました。

去年の震災の時、まさかの津波に耐えて・・・

でも「いわきの森に親しむ会」

のみんなに会えて

うれしいで～す。

今回の車検で壊

れていたマフラーも

新品に、オイルも

エンジン・ミッション

前後のデフともきれいなオイルに換えました。だから今は軽やかに動き回る事が出来ます。

使った後はきれいに清掃をしてね！

次に使う人が気持ち良いから！

これからも今まで通り仲良く付き合ってください！

い！

* 担当：金子 *

三菱ミニキャブ U42T



連絡事項

1. 農作業班より (班責任者太田)

・定例農作業日：毎週(月曜日)と第 2.4(土曜日)

(8月のお盆前後はお休みします)

・農作業地区：藤原町笠石地内が中心となります。

・活動時間：原則 9：00～12：00

・集合場所：湯ノ岳山荘

夏期作業：畑内の除草、周囲の草刈りが主

秋は収穫の秋：カボチャ、トマト、さつまいもなど
楽しみです。

* (注) 夏期の農作業・森林整備作業は

熱中症に要注意

2. 森林整備班より (班責任者桑原)

・定例整備日：毎週(水曜日)と第 1.3(土曜日)

(8月のお盆前後はお休みします)

・整備作業地区：主に湯ノ岳山荘フィールド

(その他 21 世紀の森、戸渡地区等あり)

・集合場所：湯ノ岳山荘、作業地区により変更あり。

・活動時間：原則 9：00～12：00

・活動場所：湯ノ岳山荘より作業場所に変更もあり

・夏期作業：山荘周囲の草刈等

初めての方は責任者へ連絡下さい、工具・ヘルメットの件あり。

編集後記

第 8 回通常総会が 6 月 17 日無事終了しました、今回の総会で会報が年 4 回発行と承認され決定されました。大変荷の重いものとなりました。

総会で示された通り、事業の実施結果を知らせることを重点としますが、会の情報交換の場とも思っております。

これも、皆様のご協力が無ければ出来ないものです、是非ご協力をお願い致します。

今回は、第 8 回通常総会とプロ野球の森を主に、前号に掲載出来なかった活動を若干記載しました。

今後も、会の情報受発信の場として、定期的に届けられるよう努めてまいりますので宜しくお願いします。

また、意見や情報がありましたらお寄せ願えれば幸いです。お待ちしております。

次回発行は 10 月 20 日予定で、平成 24 年度上期のまとめをしたいと思っております。

皆様の数多くの原稿をお待ちしております。(伊藤)

(発行) NPO 法人いわきの森に親しむ会

(発行責任者) 松崎和敬(編集担当者) 伊藤貞夫

(事務局) 〒972-8326 いわき市常磐藤原町湯ノ岳 2

湯ノ岳山荘内

TEL/FAX 0246-44-3273

E-mail:yunodake@gray.plala.or.jp

HP:http://www16.plala.or.jp/goan/